

下水道 いつか私にもどる水

9月10日は**下水道の日**



子供のころに遊んだ川は今もきれいですか？
生活排水は、身近な河川を汚染してしまいます。

家庭からは毎日のように台所や洗濯、
お風呂などの生活排水が排出されます。

この汚水が、そのまま側溝を通じて河川に流れ出ると、
とても自然浄化では追い付きません。

10年後、20年後の子孫たちに、安心して暮らせる環境を
伝えるのは、今を生きる私たちの役目です。

下水道は、汚れた水をきれいにして、
安心できる水の環境をつくります。

下水道事業にご協力ください。

新大館市の下水道事業

- 全体計画面積 2,404ha
- 整備済み面積 944ha
- 整備率（対全体計画） 39%
- 水洗化人口 19,906人
- 水洗化率 74%

※公共下水道事業は、旧3市町の事業が統合されています。数値は旧3市町の整備率・面積（H17年4月1日現在）、水洗化率・人口（H17年3月31日現在）を合計したものです。

大切な「命の水」

水は循環しています。山々に降った雨は、たくさん支流を流れ、大きな川となって海に注ぎます。そして地球規模の気象の中で循環し、雨となって戻ってきます。

また、水は農業に使われ、川や海の生き物の体に入り、再び私たちの食卓に戻ってきます。

人間の体の約6割は水で構成されていると言いますから、本当に「水」は私たちにあって命そのものと言えるでしょう。

使える水は、わずか0.3%

地球には、約14億kmの水があるといわれています。この内、約97%が海水で、淡水は3%だけです。この淡水の大部分は北

極や南極にある氷ですから、私たちが利用することが出来る川・湖の水や地下水は、地球上の水のわずか0.3%に過ぎません。

日本は水が豊かではない？

日本は雨の多い地域に位置し、年平均降水量は、世界の年平均降水量の2倍近くに達しています。

しかし、全降水量を人口で割った1人当たりの平均降水量をみると、世界平均の5分の1しかありません。そういう意味では、日本は中東の砂漠が広がる国々よりも1人当りの水が少なく、必ずしも水の豊かな国とは言えません。

新大館市の水洗化率74%

合併前の3市町で行われていた公共下水道事業は、統合されて新大館市の下水道事業として進められています。

全市の整備率は約40%、水洗化率は昨年度末で約74%に達し、現在では2万人を超えるかたが下水道を利用されています。

しかし、せっかくの設備も、たくさんのかたに使っていただかないと効果を上げることが出来ません。地域ぐるみで水洗化を進め、衛生的で住みよい環境を守りましょう。